

Press release

2009年9月25日

(株)テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町3丁目7番地4号 TSR ビル

代表取締役社長 藤田 正雄

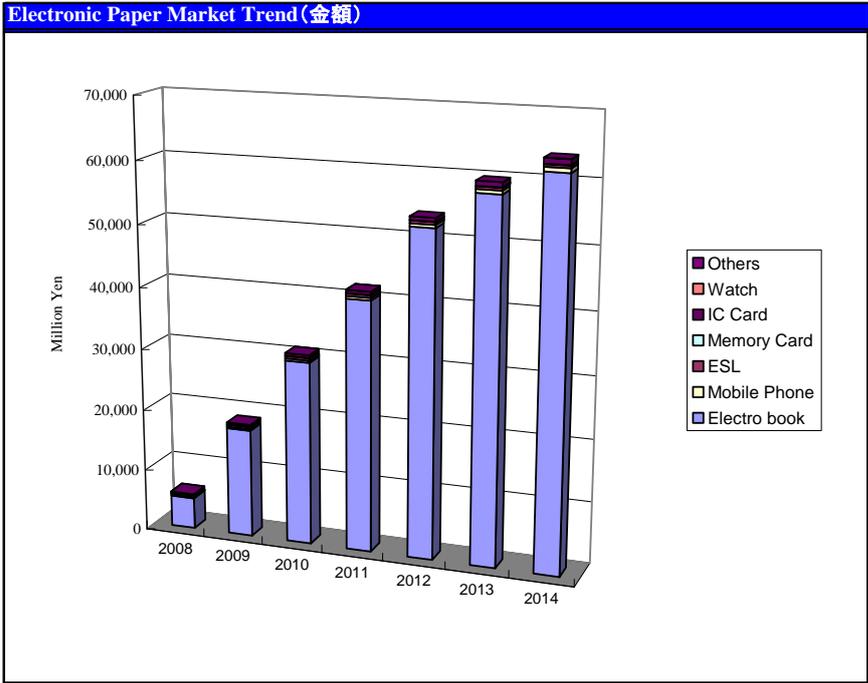
- 電子ペーパー市場は2008年約57億円、2009年は約185億円(対前年比322%増)となる見通し
- AmazonのKindleに代表される電子ブックの普及が今後も電子ペーパー市場の牽引役となる

<調査概要>

(株)テクノ・システム・リサーチは、2009年8月に電子ペーパー関連の調査資料『電子ペーパーの現状と展望 - 黎明期からの脱却の可能性-』にて、電子ペーパー市場について最新の調査結果をまとめました。

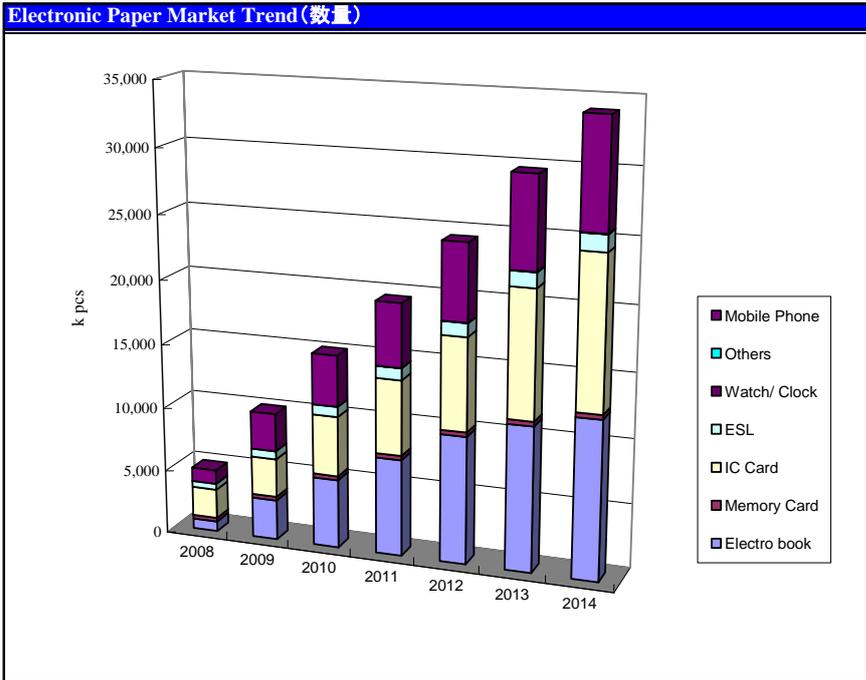
電子ペーパー市場(ディスプレイモジュール)は電子ブック市場の急拡大により、2009年は約185億円に達する見込みです。その後も電子ブックの普及が市場を牽引し、2014年には600億円を超える市場に成長すると予測しています。

電子ペーパーを搭載した電子ブックは2007年、AmazonのKindleのヒットを契機に、各社の参入が相次ぎ、2009年にはSamsungも市場参入を表明しました。以前はコンテンツの不足が指摘されていましたが、現在ではAmazonの他、Googleや北米の大手書籍チェーンが市場参入を表明しており、通信手段を含めた使用環境の充実により、電子ブック市場は今後も拡大していく見込みです。



テクノ・システム・リサーチ調べ

電子ペーパー市場(ディスプレイモジュール)は電子ブック市場の大幅な伸長により、2009年は約185億円の市場規模(対前年比322%増)となる見込です。生産数量の大きい携帯電話や、ICカードへの搭載も増えていきますが、1インチから3インチとディスプレイモジュールとしては小型な事もあり、金額ベースでは6インチクラスのディスプレイが中心である電子ブックが市場を牽引する見込です。その後もディスプレイの大型化、カラー化の普及など付加価値の追加により金額ベースでは、2014年まで電子ブックが市場形成の中心となる見込です。



テクノ・システム・リサーチ調べ

数量ベースでは、前述の電子ブック以外にも、携帯電話やICカード向けの拡大により2009年には約1,000万個(対前年比200%増)を超える見込です。携帯電話ではサブディスプレイでの使用実績以外にも、北米市場ではキーパッドに電子ペーパーを使用したモデルがでてきており、今後も市場拡大が予測されます。また、ICカードのセキュリティ用ナンバー表示用途として、電子ペーパーが採用されており、電子ブック、携帯電話とともに市場拡大の主要アプリケーションとなる見込です。その他にも電子棚札(ESL: Electronic Shelf Label)での利用も進む事から、2014年には3,400万モジュールを超える見込です。

台湾の大手液晶メーカーが、電子ペーパーの開発を先導してきたE-ink, SiPixといったベンチャー企業への買収や資本参加を通じて本格的に参入してきており、この市場がいよいよ黎明期から脱却し、成長期へ入りつつあるといえます。

このリリースのお問い合わせ先

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第2グループ

武花 勇一

電話 03-3866-4505

Info@t-s-r.co.jp